

2009.6.16

第9回厚生科学審議会
感染症分科会予防接種部会

資料3-5



予防接種に関する情報提供について 親の会としての要望

SSPE青空の会

(亜急性硬化性全脳炎の子供を持つ親の会)

第9回厚生科学審議会
感染症分科会予防接種部会



麻疹感染→SSPEの被害者の思い。

麻疹にさえ罹らねば、
こんなこと(24時間全介護生活、平均1
0数年で死亡)にはならなかった。



治せない。少なくとも病気は無くしたい。
それを可能にする麻疹の予防接種を徹
底してもらいたい。

現状の問題

世間一般の人々の予防接種への認識は？

- ・感染予防のための手段
- ・受けるか否かは個人責任
- ・怖い感染症なら受けるが、感染のリスクが少なければ、副作用も心配で、受けたくはない。
- ・麻疹は治るものであり、受けなくても構わない。

実施サイドの認識は？

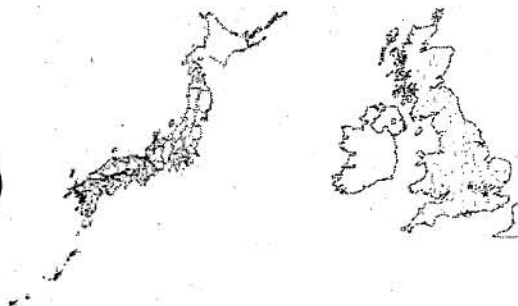
- ・副作用の責任もあり、強制的な施策は取りづらい。

予防接種の意義

日本で生まれ育った
英国人が父の女性：
14歳でSSPE発症、
17年の壮絶な闘病生活
後
31歳で逝去



予防接種の意義 (日本と英国の違い)



英国で育てば、幸せな人生を送っていたはず。

英国では麻疹は流行しておらず、SSPEにならなかつたはず。麻疹流行国の日本で生まれ育つた不運。

予防接種の意義=伝えるべき基本情報

単なる個人の病気予防手段ではない。

ウイルスが原因の重篤な病気を無くし、

子供を育てる安全な環境を作る手段

そのための国民としての責務。



(接種を受けないことは、ウイルスの媒介となり、SSPEを発症させる環境作りに加担すること。)

予防接種の効果=伝えるべき具体的情報

麻疹(SSPE)はなぜ無くすべき病気か？

- ・SSPEの実態、希少。しかし重篤。
(確率では論じられない。無限大の悲劇)
- ・無くしている国が既にある。(汎米、韓国)
- ・MRワクチン副作用のリスク VS SSPE重篤度

伝えるべき相手

全国民

- ・接種対象者のみでなく国民全てが責務を知り、予防接種が命を守る「文化」になるように。
施策を行う人(行政・教育・医療関係者)
することのリスクより、しない結果のリスク(次世代のSSPE)への責任を。

現在、お願いしたいこと

流行のない状況では、表向きの「勧奨」では、徹底しない。

↓

意義の広報と同時に「実質、強制になる施策」の工夫を。

(自治体任せでは、ばらつく。全国共通の接種履歴記録のしくみなど。)